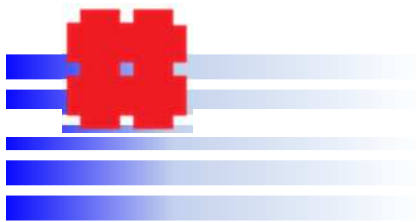


熱中症対策に資する現場管理費補正 の試行について 【実施マニュアル】

岐阜市 工事検査室

GIFU CITY



目 的

【建設業における課題】

- ・ 建設業の働き方改革の促進（長時間労働の常態化）
- ・ 建設現場の生産性の向上（現場の高齢化と若者離れ）
- ・ 持続可能な事業環境の確保（後継者難など経営課題）

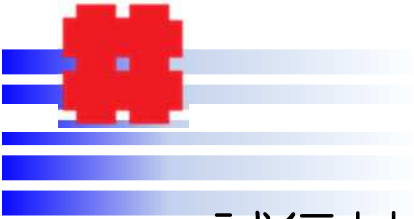
【建設工事現場の現状】

建設業と警備業をあわせた熱中症の発生件数（323件）は全産業のうち最多

※「職場における熱中症による死傷災害の発生状況」令和5年度 厚生労働省調査

対 応

近年の夏季における猛暑日などの気候状況を考慮し、建設現場にける熱中症対策に資する現場管理費の補正を行います。



対象工事

試行対象工事は、以下の全てに該当する場合とします。

○適用範囲

契約が令和7年4月1日以降となる工事とし、受注者が現場管理費の補正を希望した場合とする。

○対象工事

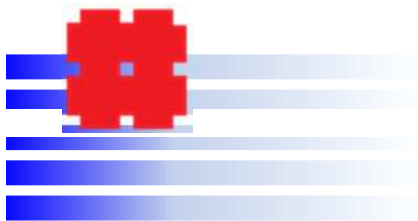
土木工事標準積算基準書、土地改良工事積算基準、及び水道事業実務必携により積算する全ての工事（単価契約を除く）で、主たる工種が屋外作業である工事。

※営繕工事については国土交通省通知により「一般的な熱中症対策に関する項目は、共通仮設費及び現場管理費に含まれる」とされているため、補正の対象外となります。

○対象地域

岐阜市内全ての地域。

GIFU CITY



用語の定義

○真夏日

真夏日は以下のいずれかに該当する日とする。ただし、夜間工事においては、作業時間帯が以下のどちらかに該当する場合とします。

- ・日最高気温が30度（℃）以上の日
- ・暑さ指数（WBGT）が25度（℃）以上の日

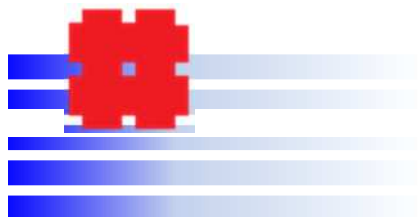
○真夏日（作業日）

真夏日のうち、現場作業を実施した日。

○真夏日率

真夏日率＝工事期間中の真夏日（作業日）÷工事期間

※真夏日率：小数点以下3位を四捨五入して2位止めとする。

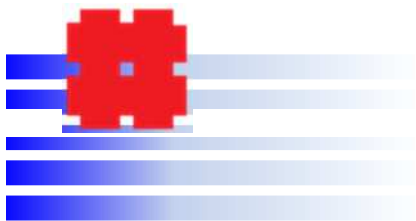


暑さ指数(WBGT)

(WBGT: Wet Bulb Globe Temperature)

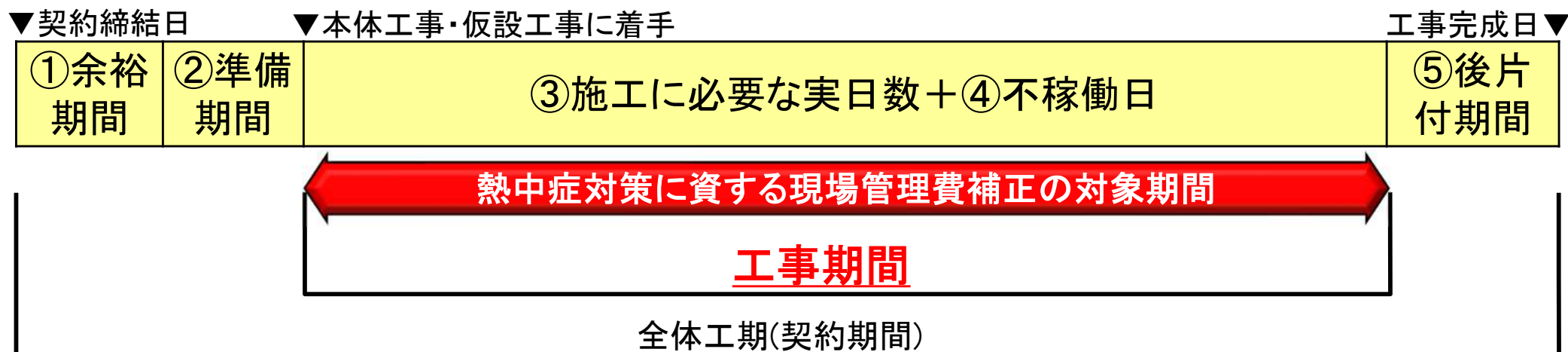
＜環境省ホームページより抜粋＞

気温 (参考)	暑さ指数 (WBGT)	熱中症予防運動指針	
35℃以上	31℃以上	運動は原則中止	特別の場合以外は運動を中止する。 特に子どもの場合には中止すべき。
31～35℃	28～31℃	厳重警戒 (激しい運動は中止)	熱中症の危険性が高いので、激しい運動や持久走など体温が上昇しやすい運動は避ける。 10～20分おきに休憩をとり水分・塩分の補給を行う。 暑さに弱い人※は運動を軽減または中止。
28～31℃	25～28℃	警戒 (積極的に休憩)	熱中症の危険が増すので、積極的に休憩をとり適宜、水分・塩分を補給する。 激しい運動では、30分おきくらいに休憩をとる。
24～28℃	21～25℃	注意 (積極的に水分補給)	熱中症による死亡事故が発生する可能性がある。 熱中症の兆候に注意するとともに、運動の合間に積極的に水分・塩分を補給する。
24℃未満	21℃未満	ほぼ安全 (適宜水分補給)	通常は熱中症の危険は小さいが、適宜水分・塩分の補給は必要である。 市民マラソンなどではこの条件でも熱中症が発生するので注意。



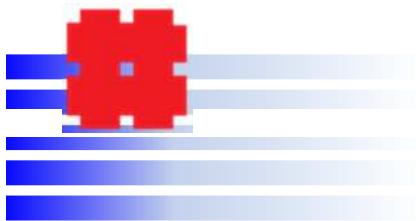
用語の定義

○工事期間



※施工に必要な期間（③+④）にあっても、対象とならない期間

- 夏季休暇 3日間（8/14～8/16 会社の休業日に合わせて変更可）
- 年末年始休暇 6日間（12/29～1/3 会社の休業日に合わせて変更可）
- 工場製作のみ実施する期間
- 工事全体を一時的に中止している期間



真夏の計測方法

○真夏の計測方法

- 1) 以下のいずれかに該当した場合、真夏日として計上することができます。
 - ① 気象庁が公表している岐阜地上観測所の日最高気温が30度（℃）以上の場合。
 - ② 環境省が公表している岐阜観測地点の暑さ指数（WBGT）が日最高25度（℃）以上の場合。
 - ③ 夜間工事は作業時間帯が①または②に該当する場合。
- 2) 上記の計測方法によりがたい場合は、別途、監督員との協議により定めます。（計測器などにより自ら計測する場合）

熱中症対策に資する現場管理費補正の試行要領 気温データの取得方法

1. 気象庁のホームページ (<https://www.jma.go.jp/jma/menu/menureport.html>) から「各種データ・資料」→「過去の地点気象データ・ダウンロード」を選択します。

国土交通省 気象庁 Japan Meteorological Agency

ホーム 防災情報 **各種データ・資料** 地域の情報 知識・解説 各種申請・ご案内

気象庁ホーム > 各種データ・資料

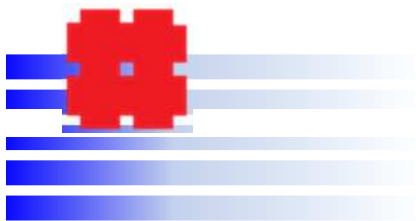
各種データ・資料

- 気象**
 - 気象観測データ
 - 最新の気象データ
 - 過去の気象データ検索
 - 過去の地点気象データ・ダウンロード**
 - 過去の地域平均気象データ検索
 - 過去の天気図 / 日々の天気図
 - 過去の台風資料
 - 梅雨入りと梅雨明け 確定値
 - 全国災害時気象概況
 - 竜巻等の突風データベース
- 地球環境・気候**
 - 地球環境・気候情報の総合ページ
 - 地球温暖化情報ポータル
 - 異常気象
 - 日本の異常気象
 - エルニーニョ/ラニーニャ現
- 海洋**
 - 海洋
 - 海洋の情報 波浪 / 海水温・海流 / 海水
 - 海洋の健康診断表
 - 海洋の実況や見通し
 - 日本沿岸の潮位
 - オホーツク海の海水
 - 状況と今後の見通し
 - 海洋の観測・解析データ
- 地震・津波・火山**
 - 地震の活動状況
 - 最新の活動状況(速報データ)
 - 最近1週間程度の活動状況
 - 各月の地震活動のまとめ
 - 地震・津波の観測・解析データ
 - 震源リスト

6. ダウンロードしたCSVファイルをエクセル形式に変換し、工事期間中の真夏日が確認できる根拠資料として利用します。

年月日	最高気温(°C)
2024/8/1	36.9
2024/8/2	36.8
2024/8/3	36.3
2024/8/4	36.1
2024/8/5	37.9
2024/8/6	36.7
2024/8/7	36.5
2024/8/8	36.9
2024/8/9	38.1
2024/8/10	36.8
2024/8/11	37
2024/8/12	36.4
2024/8/13	39
2024/8/14	39
2024/8/15	38.5
2024/8/16	37.4
2024/8/17	38
2024/8/18	37.4
2024/8/19	34.3
2024/8/20	33.2
2024/8/21	36.6
2024/8/22	35.4
2024/8/23	36
2024/8/24	36.8
2024/8/25	34.4
2024/8/26	33.3
2024/8/27	31.5
2024/8/28	30.9
2024/8/29	26.2
2024/8/30	32.2
2024/8/31	27.8

- ⑫エクセル形式に変換し、工事期間中の真夏日が確認できる根拠資料として利用



積算方法

○現場管理費の補正方法

現場管理費の補正は、変更契約により行います。

○補正值

現場管理費の補正は、真夏日率を用いて次式により算出した補正值を現場管理費率に加算します。

$$\text{補正值(\%)} = \text{真夏日率} \times \text{真夏日補正係数[1.2]}$$

※補正值：小数点以下3位を四捨五入して2位止めとする。

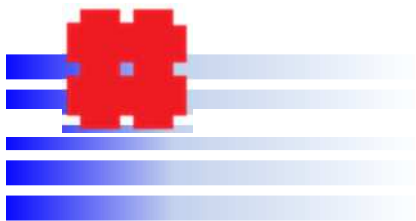
○現場管理費

対象純工事費 ×

((現場管理費率 × 補正係数) + 補正值(%))

※補正值：土木工事標準積算基準書の「緊急工事の場合の補正值」等と重複する場合においても、最高2%とする。

GIFU CITY



実施方法

①特記仕様書において、本試行の対象工事である旨を明示



②発注者は、契約締結後速やかに受注者に対し本試行の対象工事であることを説明



③受注者は、熱中症対策の実施を希望する場合工事打合せ簿により発注者と協議



④受注者は、施工計画書に真夏日の計測方法及び計測結果の報告方法を記載



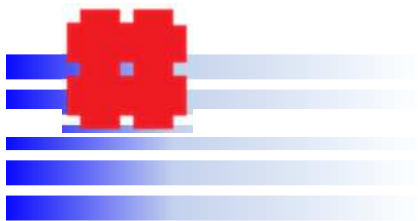
⑤受注者は、『建設現場における熱中症対策事例集』等を参考に、熱中症対策を実施



⑥受注者は、発注者に真夏日率・実施状況を報告（様式は任意）



⑦発注者は、提出資料を確認し、設計変更を行う

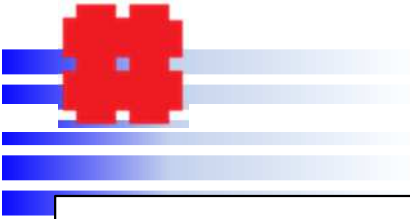


実施方法

《特記仕様書記載例》

熱中症対策に資する現場管理費の補正を試行する工事の実施

本工事において受注者が熱中症対策に資する現場管理費の補正を希望する場合は、「岐阜市熱中症対策に資する現場管理費補正の試行要領」に基づき実施すること。



実施方法

《施工計画書記載例》

(15) その他

③熱中症対策補正に関する確認事項

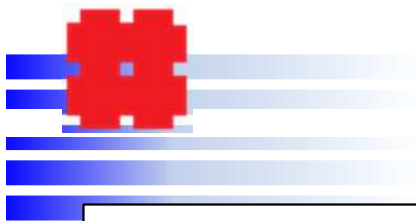
本工事における熱中症対策に資する現場管理費補正に用いる真夏日の計測方法等は次のとおりとする。

○真夏日の計測方法

- ・気象庁の岐阜観測所の日最高気温を用いる。

○計測結果等の報告方法

- ・本工事期間中の岐阜観測所における日最高気温の記録を気象庁HPより印刷し提出する。
- ・『実施工程表』により真夏日率を算出し提出する。
- ・熱中症対策の実施が確認できる代表写真を撮影し提出する。



実施方法

建設現場における熱中症対策事例集

＜国土交通省ホームページより抜粋＞

○水分・塩分の摂取

自覚症状以上に脱水状態が進行している場合もあり、作業前後及び作業中の定期的な水分摂取が重要である。そのため、適切な水分補給が行えるように「**経口保水液**」などを常備する。

○通気性の良い服装

建設現場では、安全衛生上から長袖の作業服やヘルメット、安全チョッキを着用するため、通気性が劣る服装となる。そのため、「**通気性を確保したヘルメットや作業服**」「**熱を吸収しにくい安全チョッキ**」を支給する。

○休憩所の整備

- ・ 作業場所の近隣に「**日よけテント**」を設置し、「**ミスト扇風機**」など身体を適度に冷やすことのできる設備を設置
- ・ 「**冷蔵庫、製氷機、給水機**」等の備品の設置
- ・ 保守工事等で現場近隣に休憩所を設置できない現場において「**休憩用の車両**」を配備

※詳細は国土交通省ホームページを参照↓

(<https://www.mlit.go.jp/tec/sekisan/sekou/pdf/290331jireisyuu.pdf>)

熱中症対策に資する現場管理費補正の試行要領 気温データの取得方法

1. 気象庁のホームページ (<https://www.jma.go.jp/jma/menu/menureport.html>) から「各種データ・資料」→「過去の地点気象データ・ダウンロード」を選択します。

国土交通省 気象庁 Japan Meteorological Agency

ホーム 防災情報 **各種データ・資料** 地域の情報 知識・解説 各種申請・ご案内

気象庁ホーム > 各種データ・資料

各種データ・資料

- 気象**
 - 気象観測データ
 - 最新の気象データ
 - 過去の気象データ検索
 - 過去の地点気象データ・ダウンロード**
 - 過去の地域平均気象データ検索
 - 過去の天気図 / 日々の天気図
 - 過去の台風資料
 - 梅雨入りと梅雨明け 確定値
 - 全国災害時気象概況
 - 竜巻等の突風データベース
- 地球環境・気候**
 - 地球環境・気候情報の総合ページ
 - 地球温暖化情報ポータル
 - 異常気象
 - 日本の異常気象
 - エルニーニョ/ラニーニャ現
- 海洋**
 - 海洋
 - 海洋の情報 波浪 / 海水温・海流 / 海水
 - 海洋の健康診断表
 - 海洋の実況や見通し
 - 日本沿岸の潮位
 - オホーツク海の海水
 - 状況と今後の見通し
 - 海洋の観測・解析データ
- 地震・津波・火山**
 - 地震の活動状況
 - 最新の活動状況(速報データ)
 - 最近1週間程度の活動状況
 - 各月の地震活動のまとめ
 - 地震・津波の観測・解析データ
 - 震源リスト

①「各種データ・資料」を選択

②「過去の地点気象データ・ダウンロード」を選択

6. ダウンロードしたCSVファイルをエクセル形式に変換し、工事期間中の真夏日が確認できる根拠資料として利用します。

自動保存 data.xlsx • この PC に保存済み

ファイル ホーム 挿入 描画 ページレイアウト 数式 データ 校閲 表示 自動化 ヘルプ DocuWorks

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K
1		岐阜									
2	年月日	最高気温(℃)									
3	2024/8/1	36.9									
4	2024/8/2	36.8									
5	2024/8/3	36.3									
6	2024/8/4	36.1									
7	2024/8/5	37.9									
8	2024/8/6	36.7									
9	2024/8/7	36.5									
10	2024/8/8	36.9									
11	2024/8/9	38.1									
12	2024/8/10	36.8									
13	2024/8/11	37									
14	2024/8/12	36.4									
15	2024/8/13	39									
16	2024/8/14	39									
17	2024/8/15	38.5									
18	2024/8/16	37.4									
19	2024/8/17	38									
20	2024/8/18	37.4									
21	2024/8/19	34.3									
22	2024/8/20	33.2									
23	2024/8/21	36.6									
24	2024/8/22	35.4									
25	2024/8/23	36									
26	2024/8/24	36.8									
27	2024/8/25	34.4									
28	2024/8/26	33.3									
29	2024/8/27	31.5									
30	2024/8/28	30.9									
31	2024/8/29	26.9									
32	2024/8/30	32.9									
33	2024/8/31	27.9									
34											
35											
36											

②エクセル形式に変換し、工事期間中の真夏日が確認できる根拠資料として利用

熱中症対策実施状況報告書の記載例

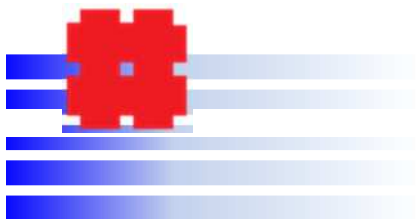
熱中症対策実施報告書	
工事名称	〇〇〇〇工事
受注者名	〇〇建設株式会社
実施期間	令和〇〇年〇〇月〇〇日() ~ 令和〇〇年〇〇月〇〇日()
実施場所	〇〇市〇〇町〇〇地内
実施内容	例 ・空調服を作業員へ配布 ・休憩所に日よけテントを設置 ・経口補水液を作業員へ配布 ・
実施状況写真	(実施状況写真の貼付)

熱中症対策として実施した内容を記載する

《記載例》

- ・空調服を作業員へ配布
- ・休憩所に日よけテントを設置
- ・経口補水液を作業員へ配布

実施状況のわかる
代表的な写真を添付する



参 考

月別真夏日日数、補正費の算出例

月別真夏日日数

	真夏日日数	
	R5年度	R6年度
4月	0	0
5月	4	1
6月	10	10
7月	27	26
8月	29	29
9月	26	26
10月	0	3
11月	0	0
12月	0	0
1月	0	0
2月	0	0※
3月	0	0※
合計	96	95

※:想定

○補正費の算出例

＜条件＞（工事時期4～8月を想定）

工種:道路改良工事、

工事期間:150日、真夏日(作業日):35日、

設計工事費:3,000万円、請負工事費:2,800万円

＜計算＞

真夏日率（％）

$$= \text{真夏日(作業日)} 35 \text{日} \div \text{工事期間} 150 \text{日} = 0.23$$

補正值（％）

$$= \text{真夏日率} 0.23 \times \text{補正係数} 1.2 = 0.28$$

現場管理費率に0.28%加算して積算すると、

現場管理費が約6万円の増額